

海陽だより

荒尾海陽中学校
第16号(R7.3.3)
「挑戦！ 一歩前進」

文責：校長



旧暦3月を『弥生（やよい）』と呼び、現在の新暦3月の別名として用いています。また、「弥生（いやおい）」が変化して「やよい」になったと言われています。「弥」は「いよいよ・ますます」、「生」は「草木が生い茂る」という意味があるようで、草木がいよいよ生い茂る月なのです。つまり、冬が終わって草木が芽吹き、生い茂る季節に入ったということです。でも今年の気候は、まだまだ寒い日が続くようです。寒暖の差に気をつけましょう。

早いもので、本年度も終わりが近づいています。三年生はあと1週間、二三年生はあと15日になり、ラストスパートです。

～新入生説明会～



2月3日、令和7年度の新入生説明会を行いました。各小学校の6年生と保護者、各校の先生方が来校し、体育館に整然と整列していました。中学校の生活の決まりや来年度の部活動についての説明をするとともに、新生徒会から歓迎の言葉や部活動紹介の映像を見せました。小学生も保護者の方々も真剣なまなざしで話を聞

いていました。「よし！中学校でもがんばろう」という気持ちで入学してほしいと思います。来年度の新入生は、男子92名、女子83名、総計175名の予定です。



中学校最後のクラスマッチ



2月25日に午後から3年生の球技のクラスマッチが行われました。これまでに体育の授業で行った球技でのクラスマッチでした。女子がバレーボールとバスケットボール、男子がサッカーで、それぞれクラス毎にチームを組んで試合を行いました。この時間だけは全員が入試のことを忘れ、チーム一丸となってみんなで盛り上がっていました。女子の試合を男子がとびら越しに応援している姿が微笑ましかったです。三年生って仲がいいですね。

サッカー1位：3年2組 バスケットボール1位：3年4組

バレーボール1位3年4組 ★総合優勝：3年4組 おめでとう！！

「いつでもどこでも誰にでも 立ち止まってあいさつ」ができる海陽中生に

「荒玉一のあいさつを目指そう！」これは、本年度の生徒会が掲げた目標であり、校内でも大きく拡大して掲示してあります。本年度も終わりにさしかかっていますが、自分はどのレベルでしょうか。ブロンズが「相手に伝わる声」、シルバーが「自分から」、ゴールドが「目を見てお辞儀しながら」ダイヤが「立ち止まって」チャンピオンが「遠くからでも地域の人でも」です。

この目安は、あいさつをすることが前提です。が、登校指導をしながら挨拶をしても表情も変えず素通りする人もいます。とても残念です。何か家で嫌なことがあったのかなとも思います。逆に先日、廊下を歩いているとある男子生徒が立ち止まって「こんにちは」とさわやかな大きな声で挨拶をしてくれました。私も元気を分けてもらい、とてもうれしく思いました。

では、なぜ私たちは「あいさつ」を大切にしているのでしょうか。それは、『5つのS』と『日常六心』という考えがあり、今後、生徒たちが成長していく中で、育てていきたい以下の心があるからです。

★『5つのS』の考えとは

- S・・・**ストップ (Stop)** あいさつは相手の目を見て礼儀正しく立ち止まってしましょう。
- S・・・**スマイル (Smile)** 笑顔であいさつできたら爽やかな気持ちになります。
- S・・・**スパーク (Spark)** はじけるように明るく元気にしましょう。
- S・・・**スピード (Speed)** 相手より先に声を出します。
- S・・・**スピリット (Spirit)** 相手の人を尊敬する心のこもったあいさつを心がけましょう。

★『日常六心』の考えとは

- 1 「おはようございます」という明るい心を育てます。
- 2 「ハイ」という素直な心を育てます。
- 3 「おかげさま」という謙虚な心を育てます。
- 4 「ありがとうございます」という感謝の心を育てます。
- 5 「すみません」という反省の心を育てます。
- 6 「私がします」という奉仕の心を育てます。

上記のような考えを持ち、実践すれば、人間を豊かにし周囲から慕われ、人望が厚くなります。まずは、自分のあいさつからですね。私も積極的にあいさつをし、日常生活の中で6つの心を育てるよう心がけます。

いよいよ卒業式目前！

今週7日金曜日に第15回荒尾海陽中学校卒業証書授与式が行われます。174名の3年生が9カ年の義務教育を終え、それぞれの進路に向かって羽ばたいていきます。素晴らしい卒業式になるよう、在校生も職員も全力で準備をしていきます。卒業生もそれに応えられるよう立派な姿を見せてもらいたいと思います。卒業おめでとう。